

前号夜間学校ニュースの評判は？

「損得に絡めての話の方が読みやすいわ」の声もあって

年内、市更相での生活保護(居宅)申請は、12月11日までに

命の軽重を問うことは、損得勘定と同じ？

いつもは、夜間学校ニュースをほめてくれる人が、前号の表を半分くらい読んで、返しにきました。

「損得に絡めてくれた方がエエわ」。

その言葉の意味を、問い返すことはできませんでした。ですから、本当のところは分かりません。心の中で避けていたことをほじくり返す内容だったということなのか、全く関心のない事柄だったのか。

本当にたまに、「もう読んだ、もったいないから返す」と、読み終わったニュースを返しに来る人はいますが、内容が気に染まないからといって返しにいられたのは、初めてのことです。前号は、扶養親族調査と絡んで、体面と生き方・死に方にふれた内容でした。

そんな内容よりも、日本の経済活性化・内需拡大に貢献するために生活保護制度を活用して、より多く消費できる立場になろう、と呼びかける内容の方が、なにやら積極的な選択のようで、受け取りやすいということかも知れません。

それはそうなのでしょうが、世間の中には、というか、狭いセンターの周辺に限っても、色んな考えの人がいます。釜ヶ崎夜間学校ニュースは、生活保護制度活用をめぐって、色んな

考え方を取り上げ、生活保護受給についての「拒否感」ともいべきものを無くそうと努めることを主な目的としています。意に沿わない内容の時もあるかと思いますが、ご理解ください。

センターにいる人の中には、「炊き出しがある限り、このままで行く」という人もいます。

これは、私の勘違いかも知れませんが、そう言った人は、その2〜3日前に、「ワシは、酒で失敗したことがある。居宅保護に直接行ってもうまく行かんだろう」と言っていた人でした。

その時は、しばらく施設に入って、酒を切るための努力、断酒会やら専門病院にかかって、それから居宅保護、アパート生活に移る、という方法を二人で話して、「そうしてみる」と結論を出したはずでした。

そう話した2〜3日後に、「どうなりました」と声を掛けたら、「誰かと勘違いしてるンやろう、ワシは、炊き出しがある限り、このままで行く」と言われました。

確かに、私は人の顔やら名前を覚えるのが苦手ですから、人違いをしたのかも知れません。

前後関係を抜きに、センターにいる人の中に、「炊き出しがある限り、このままで行く」という人がいる、ということだけの

話かも知れません。

その人が、なぜ、「炊き出しがある限り、このままで行く」と思い、そのように行動しているのかは、不明です。

生活保護施設は、収容所であり、悪である、利用するところではない、という情報に接したから、考えを変えたのかも知れませんし、本当に人違いとすれば、不明のままです。

「炊き出しがある限り、このままで行く」という思いの根源、その思いが出てきた「何故か」が分からない限り、その人に生活保護制度の活用を勧める手がかりがないということになります。

夜間学校ニュースは、思いつく限りの「何故」を探ってニュースを出し続けるということになります。

ただ、今回のことについて言えることは、「炊き出し・夜間宿所」に頼つての将来設計であれば、積極的な未来はないということです。それどころか、命の保障すらおぼつかない、ということなのです。

こういう書き方をすると、また、ビラを返されて、「損得に絡めてくれた方がエエわ」といわれるかも知れません。

しかし、人の命が路上の露と消えるかどうかの問題は、損得の問題ではありません。人の命の軽重を問うことです。

よく言われるように、人は誰も木の股から生まれたわけではなく、母から生まれたのです。生まれた時から路上で死ぬべく運命づけられた人があるはずはないし、そうあってはならない。そうは思いません。市更相からのアパート移行年内可能期間は、後一週間。

生活保護は、無差別平等、困窮の事実に基づいて、誰でも（永住権を持つ外国人を含む）活用することが出来ます。65歳以上でなければ、あるいは病気でなければ受けられない、というのはウソです。

大阪市立更生相談所（市更相）は、阪堺線の東側、公衆便所横のガードを東に抜けて、交差点を渡ったところにある建物です。

医療センター（大阪社会医療センター）は、「ある時払いの催促無し」、借用書で受診できる医療機関です。市更相あるいは西成労働福祉センターで診療依頼券をもらってから行く必要があります。

医療センターは、センターの建物外の東側に入り口があります。

「自助努力援助のための手引き書—生活保護は怖くない」（無料）をまだ受け取っていない人は、声を掛けてください。手引き書を読んだ後は、役所で保護申請、不動産屋へ。

20歳から50歳代前半くらいまでの人は、自立支援センターを活用する道もあります。寝場所・食事を提供し、就職活動を支援する施設です。入所希望者は、大阪市立更生相談所（市更相）で相談を。

不動産屋さん紹介（気軽に相談を。しかし、真剣に）

※ 双葉商事さん（電話06・6561・4392）

鶴見橋商店街の奥（西の端）。敷金不要の今すぐ入れる物件もあります。勿論、風呂付き敷金要の物件も。とりあえず電話で時間を決めて、その後の段取りを決めましょう。

※ フラップさん（電話06・6658・8888）

26号線花園交差点、イズミヤの南6~7メートル。西成区以外の物件もあります。

必ず、実物（部屋）を2~3見て比較、周囲の環境を考えて、得心して決めましょう。